

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
理事長講演 「腎臓病の克服を目指して－未踏の世界に指針を見いだす－」	6月19日（土）	11:30-12:15	第1会場		司会	松尾 清一	東海国立大学機構名古屋大学
					演者	柏原 直樹	日本腎臓学会理事長／川崎医科大学腎臓・高血圧内科学
大島賞受賞講演	6月18日（金）	13:30-14:00	第1会場		司会	猪阪 善隆	大阪大学腎臓内科学
				Generation of interspecies chimeric nephrons from renal progenitor cells using developmental organ niche	演者1	山中 修一郎	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
				DNA damage repair and altered epigenome in the kidney: as useful markers and therapeutic targets	演者2	林 香	慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科
CSA（Clinical Scientist Award）受賞講演	6月18日（金）	14:00-14:30	第1会場		司会	内田 啓子	東京女子医科大学腎臓内科
				The Emerging Role of Magnesium in CKD	演者1	坂口 悠介	大阪大学大学院医学系研究科腎疾患臓器連関制御学寄附講座
				A tight link between CKD-MBD and malnutrition-inflammation complex syndrome (MICS) in patients receiving hemodialysis	演者2	山田 俊輔	九州大学病院腎・高血圧・脳血管内科
YIA（Young Investigator Award）受賞講演	6月20日（日）	14:00-14:45	第4会場		司会1	西山 成	香川大学薬理学
					司会2	久米 真司	滋賀医科大学糖尿病内分泌・腎臓内科
				Effects of canagliflozin on anemia in patients with type 2 diabetes and chronic kidney disease	演者	大島 恵	金沢大学大学院腎臓内科学
				Cell profiling of mouse acute kidney injury reveals conserved cellular responses to injury	演者	桐田 雄平	京都府立医科大学循環器腎臓内科
				Profibrotic circulating proteins and risk of early progressive renal decline in Type 2 Diabetes patients with and without albuminuria	演者	渭原 克仁	Section on Genetics and Epidemiology, Joslin Diabetes Center／Department of Medicine, Harvard Medical School/Department of Nephrology, Tokyo Medical and Dental University
プログラム委員長講演	6月18日（金）	14:30-15:00	第1会場		演者	深川 雅史	東海大学腎内分泌代謝内科
理事長企画 「Japan Kidney Summit：腎臓病の克服を目指して－総力を結集して腎臓病を克服する」	6月19日（土）	9:00-11:30	第1会場		司会1	深川 雅史	東海大学腎内分泌代謝内科
					司会2	内田 啓子	東京女子医科大学腎臓内科
				腎臓病の克服を目指して－日本透析医学会の立場から－	演者1	中元 秀友	日本透析医学会理事長／埼玉医科大学総合診療内科
				高齢化社会における腹膜透析普及への課題	演者2	水口 潤	日本腹膜透析医学会理事長／社会医療法人川島会川島病院
				根拠に基づく最良の医療を全ての腎臓病の子ども達に	演者3	中西 浩一	日本小児腎臓学会理事長／琉球大学小児科
				腎代替療法としての腎移植医療～本邦の現状と課題～	演者4	剣持 敬	日本臨床腎移植学会理事長／藤田医科大学医学部移植・再生医学
				腎臓病の克服を目指して－腎臓学会の取り組み－	演者5	柏原 直樹	日本腎臓学会理事長／川崎医科大学腎臓・高血圧内科学
腎臓病の克服を目指して：日本腎臓財団・日本透析医会の取り組み	演者6	秋澤 忠男	日本腎臓財団理事長、日本透析医会会長／昭和大学腎臓内科				
総会長講演 「未来へ架ける 腎臓学 進行性腎疾患の早期発見と進行抑制の実現へ」	6月18日（金）	15:00-16:00	第1会場		司会	小山 哲夫	筑波大学名誉教授、茨城県立医療大学名誉教授
					演者	山縣 邦弘	筑波大学医学医療系腎臓内科学
総会長特別企画1：特別講演 「デジタルによる身体性」	6月18日（金）	16:00-17:00	第1会場		司会	山縣 邦弘	筑波大学医学医療系腎臓内科学
					演者	落合 陽一	筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター
総会長特別企画2 「宇宙医学の実際と今後の展望～JAXAつくば宇宙センターからのメッセージ」	6月19日（土）	14:00-16:40	第1会場		司会1	山縣 邦弘	筑波大学医学医療系腎臓内科学
					司会2	成田 一衛	新潟大学腎研究センター腎・膠原病内科学
				日本の有人宇宙活動	演者1	土井 隆雄	宇宙飛行士、京都大学大学院総合生存学館
				国際宇宙ステーション「きぼう」での実験マネージメントについて	演者2	井上 夏彦	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門有人宇宙技術センター
				きぼう実験1：宇宙ストレス応答におけるNRF2転写因子の役割	演者3	山本 雅之	東北大学東北メディカル・メガバンク機構
				「きぼう」実験2：宇宙環境での老化のメカニズム	演者4	黒尾 誠	自治医科大学分子病態治療研究センター抗加齢医学研究部
月および火星探査に向けたマウス宇宙ミッション	演者5	高橋 智	筑波大学医学医療系トランスポーター医学研究センター				

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
総会長特別企画3 「かかりつけ医、コメディカル、腎専門医の診療連携によるCKD患者の予後改善効果の検証」	6月20日（日）	9:00-12:00	第3会場		司会1	菱田 明	浜松医科大学
					司会2	山縣 邦弘	筑波大学医学医療系腎臓内科学
				基調講演：腎臓病研究の潮流－Outcome研究からデータサイエンスへ－	演者1	黒川 清	政策研究大学院大学
				チーム医療と栄養ケアステーション	演者2	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学
				J-DOIT3の成果をDKD重症化予防に生かす	演者3	植木 浩二郎	国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部/国立国際医療研究センター研究所
				CKD患者の診療連携と教育介入の医療経済学的考察	演者4	近藤 正英	筑波大学医学医療系保健医療政策学・医療経済学
				FROM-J研究：10年の成果とその先へ	演者5	齋藤 知栄	筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学
招請講演 「Transition of Care in CKD」	6月18日（金）	11:00-11:50	第1会場		司会	山縣 邦弘	筑波大学医学医療系腎臓内科学
					演者	Csaba P Kovcsdy	University of Tennessee Health Science Center
特別連続企画＜腎生100年を目指して＞1 「腎臓診療における遠隔医療とIT－Society 5.0に向けたデジタル腎ケア－」	6月19日（土）	9:00-11:00	第8会場		司会1	加藤 規利	名古屋大学医学部附属病院腎臓内科
					司会2	松本 啓	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
				遠隔透析管理システムの現状と今後の課題	演者1	田中 健一	福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座
				腹膜透析における遠隔患者管理と今後	演者2	小林 広学	旭川赤十字病院
				よりよいインフォームを目指したアプリ開発と実臨床での患者支援効果	演者3	松尾 七重	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
				企業や健保における遠隔禁煙治療の取り組みについて	演者4	石澤 哲郎	産業医事務所セントラルメディカルサポート
				電子お薬手帳・ワクチン管理システムharmo（ハルモ）のご紹介と今後の可能性	演者5	福士 岳歩	シミックホールディングス株式会社/東京大学大学院薬学系研究科
特別連続企画＜腎生100年を目指して＞2 「胎生期からのライフステージによる病態リスクと対策」	6月19日（土）	14:00-16:00	第8会場		司会1	田邊 克幸	岡山大学病院血液浄化療法部
					司会2	三村 維真理	東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科
				DOHaD概念の過去・現在・未来	演者1	大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科
				母体環境による腎形成・機能異常と機序	演者2	粟津 緑	元慶應義塾大学小児科
				胎児・新生児を出発点としたACT EARLY TO PREVENT IT!	演者3	張田 豊	東京大学小児科
				妊娠・出産がもたらすCKDへの影響	演者4	甲斐 平康	筑波大学医学医療系腎臓内科学
				妊娠高血圧症候群と腎臓～生涯にわたる影響～	演者5	成瀬 勝彦	奈良県立医科大学産婦人科
特別連続企画＜腎生100年を目指して＞3 「進化から考えるネオ腎病態系」	6月20日（日）	14:00-16:00	第8会場		司会1	稲城 玲子	東京大学慢性腎臓病（CKD）病態生理学
					司会2	中司 敦子	岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科学
				魚類の体液調節システムと腎機能：尿素を保持するサメ・エイ類のネフロンを中心に	演者1	兵藤 晋	東京大学大気海洋研究所生理学分野
				水生から陸生への適応を可能にした体液調節システム～肺魚研究から紐解く～	演者2	今野 紀文	富山大学学術研究部理学系
				汎動物学からみた身近な動物の腎臓とその病態	演者3	市居 修	北海道大学大学院獣医学研究院基礎獣医科学分野解剖学教室
				海に戻った哺乳類における体液調節機構と腎臓	演者4	鈴木 美和	日本大学生物資源科学部
				腎臓と造血の関係における普遍性と多様性	演者5	加藤 尚志	早稲田大学大学院先進理工学研究科生命理工学専攻／教育学部理学科生物学
Special Session＜Can Japanese evidence change the world?＞1 「RCTs on MBD from Japan」	6月18日（金）	16:00-18:00	第3会場		司会1	Tadao Akizawa	Division of Nephrology, Department of Medicine, Showa University School of Medicine
					司会2	Eiichiro Kanda	Medical Science, Kawasaki Medical School
				Moving from pyramid of evidence to yin and yang of evidence: Both RCTs and observational studies guide practice	演者1	Noriaki Kurita	Fukushima Medical University
				The J-DAVID Trial and cardio-protective effects of vitamin D receptor activation	演者2	Tetsuo Shoji	Department of Vascular Medicine, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan
				Effect of Treating Hyperphosphatemia with Lanthanum Carbonate (LC) vs Calcium Carbonate on Cardiovascular Events in Hemodialysis Patients	演者3	Hiroaki Ogata	Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Showa University Northern Yokohama Hospital
				EPISODE study	演者4	Yoshitaka Isaka	Department of Nephrology, Osaka University Graduate School of Medicine
				Clinical research in nephrology: the good, the bad, and ugly	演者5	Yoshitsugu Obi	Division of Nephrology, University of Tennessee Health Science Center

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
Special Session < Can Japanese evidence change the world? > 2 「Clinical Practice Patterns of ESRD Patients (日本腎臓財団合同企画)」	6月20日 (日)	13:30-16:00	第10会場		司会1	Masafumi Fukagawa	Division of Nephrology, Endocrinology, and Metabolism Tokai University School of Medicine
					司会2	Kosaku Nitta	Department of Nephrology, Tokyo Women's Medical University
				What makes Japanese dialysis therapy distinctive in the world - messages from the DOPPS data	演者1	Norio Hanafusa	Department of Blood Purification, Tokyo Women's Medical University
				Management of CKD-MBD: Are Japanese different from other populations?	演者2	Hiroataka Komaba	Division of Nephrology, Endocrinology and Metabolism, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan
				The management of renal anemia : in the world of iron deficiency and in the world of iron overload	演者3	Takayuki Hamano	Department of Nephrology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences
				Is predilution on-line hemodiafiltration the best dialysis modality? Then, for what?	演者4	Ikuto Masakane	Department of Nephrology, Yabuki Hospital
				Selection and management of vascular access: Is fistula the best?	演者5	Motonobu Nakamura	Division of Nephrology and Endocrinology, The University of Tokyo
				Decision making for initiation and withholding renal replacement therapy among Japanese end stage kidney disease patients: Special consideration of culture and super aging society	演者6	Yasuhiro Komatsu	Department of Healthcare Quality and Safety, Gunma University Graduate School of Medicine
シンポジウム1 「Science of Uremic Toxins」	6月18日 (金)	9:00-11:00	第3会場		司会1	Reiko Inagi	Division of CKD Pathophysiology, The University of Tokyo, Graduate School of Medicine
					司会2	Suguru Yamamoto	Niigata University Medical and Dental Hospital
				Gut microbiota, diet, and chronic kidney disease	演者1	Wendy Garrett	Departments of Immunology & Infectious Diseases and Molecular Metabolism, Harvard T.H. Chan School of Public Health
				Gut microbiome-derived phenyl sulfate may cause and a predictive marker for diabetic kidney disease	演者2	Takaaki Abe	Tohoku University
				Sarcopenia and uremic toxins	演者3	Hiroshi Watanabe	Department of Biopharmaceutics, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University
				Uremic toxins- related bone metabolic disorder in chronic kidney disease	演者4	Yoshiko Iwasaki	Department of Health Sciences, Oita University of Nursing and Health Sciences
				Interactions between the nervous system and the kidney	演者5	Shinji Tanaka	University of Virginia, Division of Nephrology and the Center for Immunity, Inflammation and Regenerative Medicine
シンポジウム2 「日本腎生検レジストリー/日本腎臓病総合レジストリー」	6月18日 (金)	9:00-10:00	第7会場		司会1	佐藤 博	JR仙台病院内科
					司会2	清水 章	日本医科大学解析人体病理学
				腎臓病総合レジストリー (J-RBR/J-KDR) 2020年次報告と経過報告	演者1	杉山 斉	岡山大学
				二次研究の成果：日本ネフロゼー症候群コホート研究 (JNSCS)	演者2	山本 陵平	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター
				多発性嚢胞腎患者全国登録による前向き多施設共同研究 (J-PKD レジストリー研究)	演者3	武藤 智	順天堂大学泌尿器外科学
				抗がん剤による腎障害に関する腎生検レジストリー研究	演者4	兼原 孝成	熊本大学腎臓内科
バーチャルスライドの現状と今後の展望	演者5	忰田 亮平	新潟大学腎・膠原病内科				
シンポジウム3 「遺伝性腎疾患研究最前線：国内で行われている最先端の研究に触れる」	6月18日 (金)	9:00-11:00	第9会場		司会1	長田 道夫	筑波大学医学医療系
					司会2	小林 靖子	群馬大学小児科
				イントロダクション：遺伝性腎疾患研究の最近の動向	演者1	飯島 一誠	神戸大学小児科
				ネフロン全体から見た蛋白尿発症の分子メカニズム	演者2	張田 豊	東京大学小児科
				laminin遺伝子異常と糸球体基底膜障害	演者3	貝森 淳哉	大阪大学腎疾患臓器連関制御学
				OCRL異常によるLowe症候群およびDent disease-2の発症メカニズム	演者4	榊原 菜々	神戸大学小児科
				ミトコンドリア腎症の全貌と解決すべき課題	演者5	今澤 俊之	国立病院機構千葉東病院腎臓内科
				アルポート症候群に対する治療法の開発	演者6	野津 寛大	神戸大学医学部小児科
シンポジウム4 「腎病理CME 系統的腎病理教育シリーズ: 係蹄上皮細胞障害を考える」	6月18日 (金)	16:00-18:00	第7会場		司会1	小川 弥生	北海道腎病理センター
					司会2	北村 博司	千葉東病院臨床病理診断部
				PodocytopathyとPodometricsの相互研究が導く臨床応用への期待	演者1	神崎 剛	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
				足細胞障害の典型的所見と考え方	演者2	種田 積子	東京女子医科大学病理学
				様々な糸球体腎炎・腎症にみる係蹄上皮細胞障害	演者3	原 重雄	神戸市立医療センター中央市民病院
				係蹄上皮細胞障害に関連した最近の知見	演者4	佐藤 泰樹	獨協医科大学埼玉医療センター

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
シンポジウム5 「腎代謝センサー分子と代謝適応応答～新しいOmicsがもたらした実像～」	6月18日（金）	16:00-18:00	第8会場		司会1	長谷川 一宏	慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科
					司会2	鳥巢 久美子	九州大学包括的腎不全治療学
				腎aberrant glycolysisは線維化の鍵である～センサー [1] PKM2～	演者1	金崎 啓造	島根大学医学部内科学講座内科学第一
				腎代謝応答の感知不全は腎臓病に直結する～センサー [2] AMPK～	演者2	蘇原 映誠	東京医科歯科大学腎臓内科
				令和の腎糖新生の新知見～センサー [3] IRSとSGLT～	演者3	笹子 敬洋	東京大学糖尿病・代謝内科
				DKD進展における糖副次経路の役割～センサー [4] KHK～ 腎臓病の病態形成におけるケトン体代謝の役割～センサー [5] mTOR～	演者4 演者5	石本 卓嗣 久米 真司	名古屋大学腎臓内科 滋賀医科大学糖尿病内分泌・腎臓内科
シンポジウム6 「嚢胞性腎疾患：現在の課題を認識し未来におけるより良い診療を創造するためのシンポジウム」	6月18日（金）	16:00-18:00	第9会場		司会1	乳原 善文	虎の門病院分院腎センター内科
					司会2	西尾 妙織	北海道大学病院内科II
				遺伝学的解析が嚢胞性腎疾患診療に与えてきたインパクトと課題	演者1	森貞 直哉	兵庫県立こども病院臨床遺伝科
				ネフロン癆～今できること、そして今後の課題～	演者2	杉本 圭相	近畿大学小児科
				ARPKD～今できること、そして今後の課題～	演者3	中西 浩一	琉球大学小児科
				ADPKD～今できること、そして今後の課題～	演者4	望月 俊雄	東京女子医科大学多発性嚢胞腎病態研究部門
				ADTKD～今できること、そして今後の課題～	演者5	岡田 絵里	神戸大学大学院小児科
				わが国での報告が相次ぐ、高齢で発症し腎腫大を伴ない急速に進行する遠位尿管特異的な嚢胞性腎疾患	演者6	川本 進也	獨協医科大学埼玉医療センター腎臓内科
シンポジウム7 「小児から成人へのシームレスなネフローゼ診療」	6月19日（土）	9:00-11:00	第2会場		司会1	丸山 彰一	名古屋大学腎臓内科
					司会2	石倉 健司	北里大学小児科学
				単一遺伝子異常と小児および成人におけるネフローゼ症候群	演者1	堀之内 智子	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科
				小児ネフローゼガイドラインの歩みと2020改定ポイント	演者2	郭 義胤	福岡市立こども病院腎・泌尿器センター腎疾患科
				AYA世代のネフローゼ治療戦略	演者3	濱田 陸	東京都立小児総合医療センター腎臓・リウマチ膠原病科
				若年発症ネフローゼ症候群の予後	演者4	新澤 真紀	大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学
				特発性ネフローゼ症候群の移行医療	演者5	井上 勉	埼玉医科大学腎臓内科
シンポジウム8 「腎臓内科医が知っておくべき腎移植領域の合併症管理」	6月19日（土）	9:00-11:00	第3会場		司会1	西 慎一	神戸大学腎臓内科
					司会2	柳田 素子	京都大学腎臓内科学
				腎移植領域の感染症・ワクチン	演者1	伊藤 健太	静岡県立総合病院腎臓内科、臨床検査科
				再発性腎疾患に対する方策	演者2	山本 泉	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
				腎移植患者のPTLDの実態	演者3	田邊 一成	東京女子医科大学
				腎移植患者のがん：予防、診断、治療	演者4	今村 亮一	大阪大学泌尿器科
				高齢者レシピエントにおける問題点と対策	演者5	辻田 誠	増子記念病院腎移植科
シンポジウム9 「CKD患者のQOL－患者中心の評価の視点と新たな指標の探索－」	6月19日（土）	9:00-11:00	第7会場		司会1	伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院腎臓内科
					司会2	星野 純一	虎の門病院腎センター内科
				運動機能面から	演者1	山本 卓	新潟大学医学部総合病院血液浄化療法部
				CKD患者の日常生活動作	演者2	伊藤 修	東北医科薬科大学リハビリテーション学
				精神心理機能面からみたCKD患者のQOL	演者3	鶴屋 和彦	奈良県立医科大学腎臓内科学
				社会経済的状況面から～透析患者の就業	演者4	中山 昌明	聖路加国際病院
				何故、今、患者立脚型アウトカムがCKD診療において重要なのか？	演者5	柴垣 有吾	聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科
シンポジウム10 「理解が深まる！水・ナトリウム代謝の新知見」	6月19日（土）	9:00-11:00	第9会場		司会1	安藤 史顕	東京医科歯科大学腎臓内科学
					司会2	河原崎 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター
				加齢に伴う高血圧発症機序の解明～食塩の関与	演者1	河原崎 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター
				Water conservation system -多臓器に制御される水・ナトリウム代謝-	演者2	北田 研人	香川大学薬理学
				SGLT2による糸球体血行動態への影響	演者3	城所 研吾	川崎医科大学腎臓・高血圧内科学
				AQP2水チャネルの制御メカニズムと治療標的としての有用性	演者4	安藤 史顕	東京医科歯科大学腎臓内科学
				MRを介した間在細胞pendrinの制御機構	演者5	鮎澤 信宏	東京大学先端科学技術研究センター

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
シンポジウム11 「COVID-19がダイバーシティ推進に与えた影響」	6月19日（土）	14:00-15:30	第2会場		司会1	安田 日出夫	浜松医科大学医学部附属病院第一内科
					司会2	鳥巢 久美子	九州大学包括的腎不全治療学
				本企画のねらいに	演者1	内田 啓子	東京女子医科大学腎臓内科
				新型コロナで日本の医療は戦後最大の危機	演者2	武藤 正樹	日本医療伝道会衣笠病院グループ
				COVID-19が男女共同参画推進にもたらしたものー女性への影響と在宅勤務ー	演者3	小川 真理子	東北大学男女共同参画推進センター
シンポジウム12 「ゲームチェンジャーの登場？新薬による水電解質・酸塩基異常の新しい治療法」	6月19日（土）	14:00-15:00	第3会場		司会1	日高 寿美	湘南鎌倉総合病院腎臓病総合医療センター
					司会2	赤井 靖宏	奈良県立医科大学地域医療学講座
				高カリウム血症とジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム	演者1	村島 美穂	名古屋市立大学
				低Na血症（SIADH）とトルバプタン	演者2	今井 直彦	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
				高リン血症とテナパノール	演者3	駒場 大峰	東海大学腎内内分泌代謝内科
代謝性アシドーシスとveverimer	演者4	塚原 知樹	川崎幸病院				
シンポジウム13 「保存期におけるCKD-MBD管理：Pros and Cons」	6月19日（土）	14:00-16:00	第7会場		司会1	徳本 正憲	福岡赤十字病院腎臓内科
					司会2	米本 佐代子	兵庫県立西宮病院腎臓内科
				保存期においてリン管理は必要か？ Pro	演者1	岩津 好隆	自治医科大学分子病態治療研究センター-抗加齢医学研究部
				保存期においてリン管理は必要か？ Con	演者2	後藤 俊介	神戸大学腎臓内科
				保存期においてビタミンDの補充は必要か？ Pro	演者3	藤井 直彦	兵庫県立西宮病院腎疾患総合医療センター-腎臓内科
				保存期CKDにおけるビタミンDの補充 Con	演者4	木村 浩	福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座,
				保存期においてPTH管理は必要か？ Pro	演者5	山本 卓	新潟大学歯学総合病院血液浄化療法部
保存期においてPTH管理は必要か？ Con	演者6	山田 俊輔	九州大学病院腎・高血圧・脳血管内科				
シンポジウム14 「ビッグデータベースの臨床応用の現状と未来（日本医療情報学会合同企画）」	6月20日（日）	9:00-11:00	第1会場		司会1	柏原 直樹	川崎医科大学腎臓・高血圧内科学
					司会2	中島 直樹	九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター
				J-CKD-DBからJ-CKD-DB-Ex、そしてJ-CKD-DB-Nextへ	演者1	長洲 一	川崎医科大学腎臓高血圧内科学
				大規模レセプトデータに基づくエビデンスの飛躍的創出と社会実装	演者2	満武 巨裕	医療経済研究機構
				大規模ヘルスデータを用いたLearning Health Systemの構築	演者3	福間 真悟	京都大学医学研究科
				デジタルトランスフォーメーション（情報革命）時代のPrecision Medicine	演者4	中島 直樹	九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター
次世代医療基盤法による医療ビッグデータベースの応用	演者5	小松 慶太	内閣府 健康・医療戦略推進事務局／内閣官房／経済産業省				
シンポジウム15 「腎性貧血治療update2021－変わるものと変わらないもの、HIF-PH阻害薬登場によって－」	6月20日（日）	9:00-11:00	第2会場		司会1	山本 裕康	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
					司会2	伊藤 恭彦	愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科
				保存期におけるESA治療～PREDICT試験から～	演者1	林 晃正	大阪急性期・総合医療センター 腎臓・高血圧内科
				New Advances in Anemia Therapy: HIF-Prolyl Hydroxylase Inhibitors	演者2	Volker Hans Haase	Department of Medicine and Department of Molecular Physiology and Biophysics, Vanderbilt University Medical Center, Vanderbilt University School of Medicine, Nashville, TN, USA
				HIF-PH阻害薬の心血管系への潜在的影響	演者3	武田 憲彦	自治医科大学分子病態治療研究センター-循環病態・代謝学研究部
				HIF-PH阻害薬の悪性腫瘍への潜在的影響	演者4	冨田 修平	大阪市立大学分子病態薬理学
				腎性貧血治療における鉄剤投与の重要性	演者5	藤崎 毅一郎	飯塚病院腎臓内科
HIF-PH阻害薬の最適な治療対象患者と治療目標	演者6	本田 浩一	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門				
シンポジウム16 「超高齢化社会における腎硬化症に対する戦略的アプローチ：今、密かに増加中の腎硬化症にどう対応すべきか？」	6月20日（日）	9:00-11:00	第8会場		司会1	田村 功一	横浜市立大学循環器・腎臓・高血圧内科学
					司会2	内田 治仁	岡山大学CKD・CVD地域連携包括医療学
				腎生検の病理から腎硬化症の重症度の判定は可能か？	演者1	上杉 憲子	福岡大学医学部病理学
				腎硬化症における腎虚血の重要性：基礎の面から	演者2	田中 哲洋	東京大学腎臓・内分泌内科
				腎硬化症における腎虚血の評価 臨床の面から	演者3	井上 勉	埼玉医科大学腎臓内科
				糖尿病性腎臓病における腎硬化症の側面	演者4	清水 美保	金沢大学大学院腎臓内科学
腎微小循環を考慮した腎硬化症治療の個別最適化	演者5	古波蔵 健太郎	琉球大学病院血液浄化療法部				

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
シンポジウム17 「電解質道場 探偵編 症例コンサルテーションに学ぶ名探偵の思考過程」	6月20日（日）	9:00-11:00	第9会場		司会1（名探偵3）	柴垣 有吾	聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科
					司会2（名探偵4）	門川 俊明	慶應義塾大学医学教育統轄センター
				外国人観光客の重症アシドーシス	演者1	長浜 正彦	聖路加国際病院腎臓内科
				腎移植後患者の低カリウム血症	演者2	寺下 真帆	名古屋第二赤十字病院移植外科
				透析患者の低Na血症 透析すべきか せざるべきか	演者3	志水 英明	大同病院腎臓内科
					名探偵1	小松 康宏	群馬大学大学院医療の質・安全学講座
					名探偵2	藤田 芳郎	中部ろうさい病院腎・リウマチ膠原病・感染症科
シンポジウム18 「糖尿病における心腎連関－最新知見が語る真実とは－（日本糖尿病学会合同企画）」	6月20日（日）	14:00-16:00	第1会場		司会1	和田 隆志	金沢大学腎臓内科学
					司会2	川浪 大治	福岡大学内分泌・糖尿病内科学
				JDDM54 study over view	演者1	横山 宏樹	自由が丘横山内科クリニック
				循環器内科医から見た糖尿病合併腎臓病と予後改善を考えた治療	演者2	石井 秀樹	藤田医科大学ばんだね病院循環器内科
				糖尿病医から見た心腎連関	演者3	花井 豪	東京女子医科大学糖尿病センター内科
				糖尿病性腎臓病と心血管病の関係：国内外の臨床・疫学研究の成績より	演者4	二宮 利治	九州大学衛生・公衆衛生学分野
				心臓・腎臓に共通の治療標的	演者5	高垣 雄太	金沢医科大学糖尿病内分泌内科学
シンポジウム19 「腎代替療法指導管理の現状と課題（日本透析医学会合同企画）」	6月20日（日）	14:00-16:00	第7会場		司会1	西 慎一	神戸大学腎臓内科
					司会2	宮崎 真理子	東北大学腎・高血圧・内分泌学分野
				保存期腎不全教育の効果	演者1	花房 規男	東京女子医科大学 血液浄化療法科
				地域や医療機関の体制に合わせた腎代替療法指導管理	演者2	鶴屋 和彦	奈良県立医科大学腎臓内科学
				腎移植：適切なリスク評価と患者への説明はいかにあるべきか？	演者3	齋藤 和英	新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野
				多職種が参画する管理指導の普及、指導の質の担保に関する課題	演者4	内田 明子	聖隷佐倉市民病院
ワークショップ1 「DNA障害・ゲノム不安定性および細胞老化から腎臓病を考察する」	6月18日（金）	9:00-11:00	第2会場		司会1	岸 誠司	川崎医科大学総合臨床医学
					司会2	山原 真子	滋賀医科大学医師臨床教育センター
				腎臓病におけるDNA損傷修復とDNAメチル化の意義について	演者1	菱川 彰人	慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科
				DNA損傷応答と急性腎障害の進展	演者2	草場 哲郎	京都府立医科大学腎臓内科
				腎臓病の運命決定機構におけるDNA損傷応答機構の役割	演者3	岸 誠司	川崎医科大学総合臨床医学
				後天的DNA損傷による老化速度制御モデル	演者4	早野 元詞	慶應義塾大学医学部精神科学教室
ワークショップ2 「未踏の頂き AKIへの挑戦」	6月18日（金）	9:00-10:30	第8会場		司会1	平和 伸仁	横浜市立大学学術院医学群附属市民総合医療センター
					司会2	林 宏樹	藤田医科大学腎臓内科学
				見直される急性腎障害(Acute Kidney Injury)の診断と分類	演者1	西本 雅俊	奈良県立医科大学腎臓内科学
				AKIの最善の転帰をめざした腎代替療法（RRT）	演者2	宮崎 真理子	東北大学腎・高血圧・内分泌学分野
				ICUにおけるケアバンドル	演者3	山田 博之	京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学
				AKIに対するdrug discovery	演者4	岩倉 考政	浜松医科大学第一内科
ワークショップ3 「各種ガイドラインにおけるCKD診療－これだけは知っておくべき他分野からみたCKD診療の基本知識－」	6月18日（金）	16:00-17:30	第2会場		司会1	岡田 浩一	埼玉医科大学腎臓内科
					司会2	安田 宜成	名古屋大学腎臓内科
				急性・慢性心不全診療ガイドラインにおけるCKD診療	演者1	筒井 裕之	九州大学循環器内科学
				高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015/フレイル診療ガイド2018とCKD	演者2	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター
				産婦人科診療ガイドライン産科編2020とCKD	演者3	関 博之	埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター
				慢性疼痛診療のガイドラインとCKD	演者4	牛田 享宏	愛知医科大学学際的痛みセンター
ワークショップ4 「医療従事者のためのリスクコミュニケーション術」	6月19日（土）	15:30-17:00	第2会場		司会1	長谷川 毅	昭和大学統括研究推進センター/腎臓内科学部門
					司会2	小松 康宏	群馬大学大学院医療の質・安全学講座
				企画趣旨・臨床疫学の観点から	演者1	長谷川 毅	昭和大学統括研究推進センター/腎臓内科学部門
				臨床医・臨床研究者の観点から	演者2	片桐 大輔	国立国際医療研究センター病院腎臓内科
				大学広報・一般市民の観点から	演者3	松井 史郎	長崎大学広報戦略本部
				専門医：Informed consentならびにShared decision makingの観点から	演者4	小松 康宏	群馬大学大学院医療の質・安全学講座

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
ワークショップ5 「腎生検病理診断コンサルテーション・アンド・レビュー」	6月19日（土）	15:00-17:00	第9会場		司会1	眞部 俊	東京労災病院腎臓内科
					司会2	柳内 充	札幌徳州会病院病理診断科
				レビュー講演	演者1	清水 章	日本医科大学解析人体病理学
				症例検討1：移植腎に発生したアミロイドーシスの一例	演者2	伊藤 由美	新潟大学腎・膠原病内科
				-	演者3 (症例1病理コメンテータ)	秋谷 昌史	がん研究会がん研究所病理部
				症例検討2：抗凝固薬内服中に高度尿潜血を伴うRPGNを呈し、膜性腎症と広範な尿細管間質障害を認めた高齢者の一例	演者4	小川 雅子	大阪赤十字病院腎臓内科
				演者5 (症例2病理コメンテータ)	小池 淳樹	聖マリアンナ医科大学病理学	
ワークショップ6 「腎臓病療養指導士の活動の実際」	6月20日（日）	9:00-11:00	第7会場		司会1	阿部 雅紀	日本大学腎臓高血圧内分泌内科
					司会2	内田 明子	聖隷佐倉市民病院
				腎臓病療養士活動の今後の展開と評価	演者1	要 伸也	杏林大学腎臓・リウマチ膠原病内科
				腎臓病療養指導士の活動実態と今後の課題～大規模アンケート調査の結果から～	演者2	阿部 雅紀	日本大学医学部腎臓高血圧内分泌内科
				私が描く腎臓病療養指導士	演者3	島村 亜希子	パナソニック健康保険保険組合松下記念病院
				腎臓病療養指導士の活動の実際<栄養士の立場から>	演者4	川手 由香	京都桂病院
				演者5	成末 まさみ	光晴会病院薬剤科	
共同研究セッション 「International comparison in epidemiology of chronic kidney disease」 (日本腎臓学会/協和キリン株式会社)	6月20日（日）	9:00-10:30	第10会場		司会1	Harold I. Feldman	Center for Clinical Epidemiology and Biostatistics, and University of Pennsylvania / Department of Biostatistics, Epidemiology, and Informatics, Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania
					司会2	Naohiko Fujii	Department of Nephrology, Hyogo Prefectural Nishinomiya Hospital
				International collaboration of chronic kidney disease cohort studies: ISN iNET-CKD network	演者1	Harold I. Feldman	Center for Clinical Epidemiology and Biostatistics, and University of Pennsylvania / Department of Biostatistics, Epidemiology, and Informatics, Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania
				Association between Serum Indices of Iron Metabolism and Cardiovascular Morbidity in Patients with Predialysis Chronic Kidney Disease	演者2	Takeshi Hasegawa	Showa University Research Administration Center (SURAC), Showa University Division of Nephrology, Department of Medicine, School of Medicine, Showa University
				Etiological information for risk stratification of chronic kidney disease based on past kidney biopsy	演者3	Takayuki Hamano	Department of Nephrology Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences
				Socioeconomic status and prognosis of patients with predialysis chronic kidney disease in Japan	演者4	Naohiko Fujii	Department of Nephrology, Hyogo Prefectural Nishinomiya Hospital
				CVD prevalence and β -blocker prescribing in CKD: A comparison between Japan and the United States	演者5	Takahiro Imaizumi	Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital
教育講演1 「GLP-1受容体作動薬の糖尿病性腎臓病治療にもたらす光明」	6月18日（金）	10:00-11:00	第7会場		司会	豊田 雅夫	東海大学腎内分泌代謝内科
					演者	藤田 浩樹	秋田大学代謝・内分泌内科学
教育講演2 「医療の経済学」	6月18日（金）	11:00-12:00	第7会場		司会	守山 敏樹	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター
					演者	康永 秀生	東京大学臨床疫学・経済学
教育講演3 「分子標的薬による糸球体・尿細管障害」	6月18日（金）	10:30-11:30	第8会場		司会	和田 健彦	東海大学腎内分泌代謝内科
				血管内皮増殖因子阻害薬と糸球体障害	演者1	金子 佳賢	新潟大学腎・膠原病内科
				免疫チェックポイント阻害薬と間質尿細管障害	演者2	松原 雄	京都大学腎臓内科
教育講演4 「ADPKD and ADTKD：病態を理解して治療しよう」	6月18日（金）	11:00-12:00	第9会場		司会	武藤 智	順天堂大学泌尿器外科学
				大きな変革期を迎えた多発性嚢胞腎の診療	演者1	諏訪部 達也	虎の門病院腎センター内科
				ADTKD：的確な診断と最善の治療を目指して	演者2	蘇原 映誠	東京医科歯科大学腎臓内科
教育講演5 「COVID-19における腎臓専門医の役割」	6月18日（金）	17:30-18:30	第2会場		司会	熊谷 裕生	防衛医科大学校腎臓内分泌内科
					演者	土井 研人	東京大学大学院医学系研究科救急科学
教育講演6 「加齢による下部尿路症状」	6月19日（土）	15:00-16:00	第3会場		司会	阿部 貴弥	岩手医科大学泌尿器科学講座
					演者	巴 ひかる	東京女子医科大学東医療センター
教育講演7 「補体と腎疾患」	6月19日（土）	16:00-17:00	第3会場		司会	伊藤 秀一	横浜市立大学発生成育小児医療学
					演者	水野 正司	名古屋大学腎不全システム治療学

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
教育講演8 「慢性腎臓病（CKD）患者の骨粗鬆症治療を考える」	6月19日（土）	16:00-17:00	第7会場		司会	風間 順一郎	福島県立医科大学腎臓高血圧内科
					演者	谷口 正智	福岡腎臓内科クリニック
教育講演9 「移植腎病理の読み方の基本」	6月19日（土）	14:00-15:00	第9会場		司会	本田 一穂	昭和大学顕微解剖学
					演者	武田 朝美	名古屋第二赤十字病院腎臓内科
教育講演10 「研究倫理・医療倫理の最新知識（研究倫理・医療倫理に関する研修会）」	6月19日（土）	13:50-14:50	第10会場		司会	和田 隆志	金沢大学腎臓内科学
					演者	会田 薫子	東京大学死生学・応用倫理センター上廣講座
教育講演11 「保存的腎臓療法：いつ、誰が、何のために、どう行うか」	6月20日（日）	11:00-12:00	第2会場		司会	西野 友哉	長崎大学病院腎臓内科
					演者	酒井 謙	東邦大学医学部腎臓学講座
教育講演12 「デジタルヘルスと糖尿病性腎臓病」	6月20日（日）	11:00-12:00	第7会場		司会	長洲 一	川崎医科大学腎臓高血圧内科学
					演者	脇 嘉代	東京大学大学院医学系研究科医療情報学
教育講演13 「慢性腎臓病の病態とネフロン数」	6月20日（日）	11:00-12:00	第8会場		司会	祖父江 理	香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
					演者	坪井 伸夫	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
教育講演14 「オルガノイド医療がもたらす未来」	6月20日（日）	11:00-12:00	第9会場		司会	内田 信一	東京医科歯科大学腎臓内科学
					演者	武部 貴則	東京医科歯科大学統合研究機構
教育講演15 「CKDを持つ人の「QOL」を重視した医療とは何だ？ -健康関連QOLと心理面からのアプローチ-」	6月20日（日）	14:00-15:00	第2会場		司会	中山 昌明	聖路加国際病院腎センター・腎臓内科
					演者	栗田 宜明	福島県立医科大学大学院医学研究科臨床疫学分野
教育講演16 「CKD患者における心不全」	6月20日（日）	14:00-15:00	第3会場		司会	常喜 信彦	東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科
					演者	藤井 秀毅	神戸大学大学院医学研究科腎臓内科、腎・血液浄化センター
教育講演17 「高血圧・腎臓病シン・共生論（日本高血圧学会合同企画）」	6月20日（日）	15:00-16:00	第3会場		司会	藤田 敏郎	東京大学
					演者	伊藤 裕	慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科
教育講演18 「腎細胞がんの治療の進歩」	6月20日（日）	14:00-15:00	第9会場		司会	大家 基嗣	慶應義塾大学泌尿器科
					演者	宮嶋 哲	東海大学腎泌尿器科学
教育講演19 「日本の電解質異常のガイドラインは必要か？作成可能か？」	6月20日（日）	15:00-16:00	第9会場		司会	内田 俊也	帝京平成大学国際交流センター
					演者	長浜 正彦	聖路加国際病院腎臓内科
Asian session・APSN CME Joint symposium 「Asian nephrology after COVID-19」	6月18日（金）	9:00-11:00	第10会場			Xue-Qing Yu	APSN CME Committee Chair
						Masaomi Nangaku	President of APSN
					司会1	Naoki Kashihara	President of JSN
					司会2	Xue-Qing Yu	APSN CME Committee Chair
					演者1	Naoki Kashihara	President of JSN
					演者2	Masaomi Nangaku	President of APSN
					演者3	Chul Woo Yang	President of KSN
					演者4	Shang-Jyh Hwang	President of TSN
	Naoki Kashihara	president of JSN					
JSN/ASN Joint Symposium	6月19日（土）	9:00-11:00	第10会場		司会1	Susan E. Quaggin	ASN President, Northwestern Medicine
					司会2	Naoki Kashihara	JSN President, Department of Nephrology/Hypertension, Kawasaki Medical School
					演者1	Susan E. Quaggin	ASN President, Northwestern Medicine
					演者2	Kirk Campbell	Mount Sinai Hospital
					演者3	Naoki Kashihara	JSN President, Department of Nephrology/Hypertension, Kawasaki Medical School
					演者4	Taiji Matsusaka	Department of Basic Medicine, Tokai University School of Medicine

セッション	日にち	時間	会場	演題名	区分	氏名	所属
JSN/ERA-EDTA Joint Symposium 「Immunology and the kidney」	6月19日（土）	15:00-17:00	第10会場		司会1	Mårten Segelmark	Lund University
					司会2	Motoko Yanagita	Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Kyoto University
				Reconsideration of dissimilarity in European and Japanese IgA nephropathy	演者1	Yusuke Suzuki	Department of Nephrology, Juntendo University Graduate School of Medicine
				Removal of autoantibodies in rapidly progressive glomerulonephritis-with plasma exchange, with enzymatic degradation or not all?	演者2	Mårten Segelmark	Lund University
				Clinical outcomes of lupus nephritis in Japan: results from a nationwide registry	演者3	Keiju Hiromura	Department of Nephrology and Rheumatology, Gunma University
				Rituximab treatment in MCD and FSGS: what are the evidences and mechanisms of action	演者4	Andreas Kronbicher	Department of Medicine, University of Cambridge
				RNA targeted therapies in kidney disease	演者5	Maria Vanessa Pérez-Gómez	Fundación Jiménez Díaz University Hospital
Role of macrophages in the protective effect of the kidney through the autonomic nervous system	演者6	Tsuyoshi Inoue	Department of Physiology of Visceral Function and Body Fluid, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University				
JSN/KDIGO Joint Symposium 「New Concept of AKD and Recent KDIGO Activities」	6月18日（金）	16:00-18:00	第10会場		司会1	Yusuke Tsukamoto	Department of Nephrology, IMS Itabashi Chuo Medical Center
					司会2	Kunitoshi Iseki	Nakamura Clinic, Clinical Research Support Center
				AKD as a new concept	演者1	Paul E Stevens	East Kent Hospitals University NHS Foundation Trust
				Participation in "KDIGO in Genetics" working group as a researcher	演者2	Kandai Nozu	Kobe University Graduate School of Medicine
Participating in KDIGO Conference on ADPKD Guidance as a Patient	演者3	Kaori Yamane Winston	PKDFCJ				
JSN/KDIGO session on DKD	6月20日（日）	10:30-12:00	第10会場		司会1	Takashi Wada	Department of Nephrology and Laboratory Medicine, Kanazawa University
					司会2	Shin-ichi Araki	Shiga University of Medical Science
				KDIGO Guideline on Diabetes Management in Chronic Kidney Disease	演者1	Adrian Liew	Mount Elizabeth Novena Hospital
				Early Identification and Intervention in CKD	演者2	Magdalena Madero Rovalo	National Institute of Cardiology Ignacio Chavez
Japanese clinicopathological evidence on DKD	演者3	Kengo Furuichi	Kanazawa Medical University, Department of Nephrology				